

事業名：発明教室開設事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	03 青少年健全育成の推進								
基本事業	01 青少年健全育成活動の充実								
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

少年少女発明クラブ

手段（事務事業の内容、やり方）

小中学校、広報により参加者を募集し、専任の指導員のもと道具の使い方からはじめ自らの発想を具体化し、工夫をして作品を創り上げる。

・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、発明教室を円滑に行う団体に対し補助金を支出する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

発明教室に参加することにより、科学技術への関心を高め、想像力を養い、集団活動や体験学習の経験を通して、創造性豊かな子どもの育成を図る。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	対象クラブ数	団体	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	581	581	581	581
活動指標2	開催回数	回	29	20	24	38
成果指標1	作品展等応募、出品数（市内、全道、全国）	件	28	58	47	50
成果指標2	延べ活動人数	人	660	512	434	600
事業費(A)		千円	581	581	581	581
正職員人件費(B)		千円	1,204	1,202	1,172	1,174
総事業費(A+B)		千円	1,785	1,783	1,753	1,755

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から1月：製作教室 ・8、9月：体験教室 ・夏冬休みの特別教室 ・夏冬の作品展展示会 ・活動団体等の事業に対し補助金を支出 	発明教室実施団体への補助金 581千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
平成13年から江別小学校の余裕教室を活用し専用の工作室としているが、同小学校廃校後の活動場所は未定である。 受講者が増加傾向であり、きめ細かい指導ができないことや安全確保の面などから指導員の増加が必要である。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
児童生徒の創造力豊かな人間形成を図るとともに余裕教室を活用した学校完全週5日制に伴う土曜日の健全育成と異年齢交流を図ることを目的とした妥当な事業である。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
児童生徒の自由闊達な創造力を尊重し、科学技術に対する夢と情熱を育み、創造、創作の喜びや満足感、達成感を持たせることは健全育成への貢献度は大きい。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
児童数が減少傾向にあるが、発明工夫展への出品を通じて成果を発表し、全道への出展件数、全国入賞などの件数も増えつつある。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
指導者の発掘・確保や事業のPR等を見直し、新たな参加者の数を増やす必要がある。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
材料については清掃事務所等の協力を得て廃品のリサイクルを行いコストの削減を図っている。	